

静岡県第4次地震被害想定（第二次報告）の想定結果 （概要）

駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波

ライフラインの被害.....	1
交通施設等の被害	4
生活支障等	7
経済被害.....	9

相模トラフ沿いで発生する地震・津波

ライフラインの被害.....	10
交通施設等の被害	13
生活支障等	16
経済被害.....	17

ライフラインの被害

1 上水道

＜断水率、断水人口＞

区分	給水人口 (千人)	断水率 (%)				断水人口 (千人)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
レベル1	約3,716	96	93	58	2	約3,584	約3,462	約2,144	約63
レベル2 (基本ケース)		96	93	58	7	約3,584	約3,464	約2,159	約250
区分	需要家数 (千件)	断水率 (%)				断水需要家数(千件)			
(第3次想定)	1,235	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
		91	71	15	0	1,123	880	184	0

＜復旧予測＞

レベル1	95%復旧 4週間程度
レベル2 (基本ケース)	95%復旧 5週間程度
(第3次想定)	需要家の95%以上に仮設水道による給水 30日程度

2 下水道

＜機能支障率、機能支障人口＞

区分	処理人口 (千人)	機能支障率 (%)				機能支障人口(千人)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
レベル1	約2,236	12	53	7	0	約257	約1,176	約153	約9.6
レベル2 (基本ケース)		51	67	43	6	約1,143	約1,502	約969	約143
区分	需要家数(千件)	機能支障率 (%)				機能支障需要家数(千件)			
(第3次想定)	547	2.1				12			

＜復旧予測＞

レベル1	95%復旧 2週間程度
レベル2 (基本ケース)	95%復旧 5週間程度
(第3次想定)	上水道の復旧に合わせ復旧 30日程度

3 電力

＜停電率、停電軒数＞

区分	需要家数 (千軒)	停電率(%)				停電軒数(千軒)			
		直後	1日後	4日後	1週間後	直後	1日後	4日後	1週間後
レベル1	約2,247	89	79	6	3	約1,996	約1,786	約129	約77
レベル2 (基本ケース)		89	80	8	5	約2,001	約1,795	約173	約122
区分	需要家数(千件)	機能支障率(%)				停電需要家数(千件)			
(第3次想定)	1,731	33.7				583			

＜復旧予測＞

レベル1	95%復旧 1週間程度
レベル2 (基本ケース)	95%復旧 1週間程度
(第3次想定)	95%復旧 6～12日程度

4 通信

＜固定電話(不通回線率、不通回線数)＞

区分	回線数 (千回線)	不通回線率(%)				不通回線数(千回線)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
レベル1	約833	90	81	6	1	約748	約677	約54	約4.7
レベル2 (基本ケース)		90	82	12	6	約752	約683	約101	約50
(第3次想定)	(不通回線率の想定をしていない)								

＜復旧予測＞

レベル1	95%復旧 1週間程度
レベル2 (基本ケース)	95%復旧 2週間程度
(第3次想定)	95%復旧(サービス復旧) 12日程度

<携帯電話(停波基地局数、不通ランク)>

区分	停波基地局率(%)				不通ランク			
	直後	1日後	4日後	1週間後	直後	1日後	4日後	1週間後
レベル1	7	81	11	7	—	A	—	—
レベル2 (基本ケース)	11	82	16	12	—	A	—	—
(第3次想定)	(想定対象としていない)							

※ 不通ランク 「A」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が50%を超える。
「B」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が40%を超える。
「C」：停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が30%を超える。
「—」：上記ランクA、B、Cのいずれにも該当しない。

<復旧予測>

レベル1	95%復旧 1週間程度
レベル2 (基本ケース)	95%復旧 2週間程度

5 ガ ス

<都市ガス(供給停止率、供給停止戸数)>

区分	需要家数 (千戸)	供給停止 戸数(千戸)	供給停止率 (%)	復旧対象戸数 (千戸)
レベル1	約494	約380	77	約189
レベル2 (基本ケース)	約494	約391	79	約180
(第3次想定)	約479	約479	100	—

<復旧予測>

区分	都 市 ガ ス
レベル1	95%復旧 4週間程度
レベル2 (基本ケース)	95%復旧 4週間程度
(第3次想定)	95%復旧 30日程度

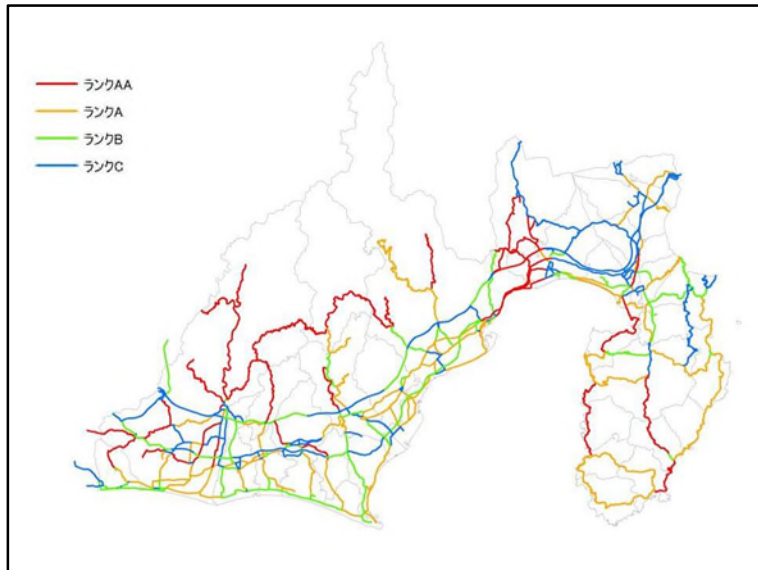
<LPガス(機能支障率、要点検需要家数)>

区分	需要家数 (千戸)	機能支障率 (%)	要 点 検 需要家数(千戸)
レベル1	約855	32	約271
レベル2 (基本ケース)		35	約298
(第3次想定)	(想定対象としていない)		

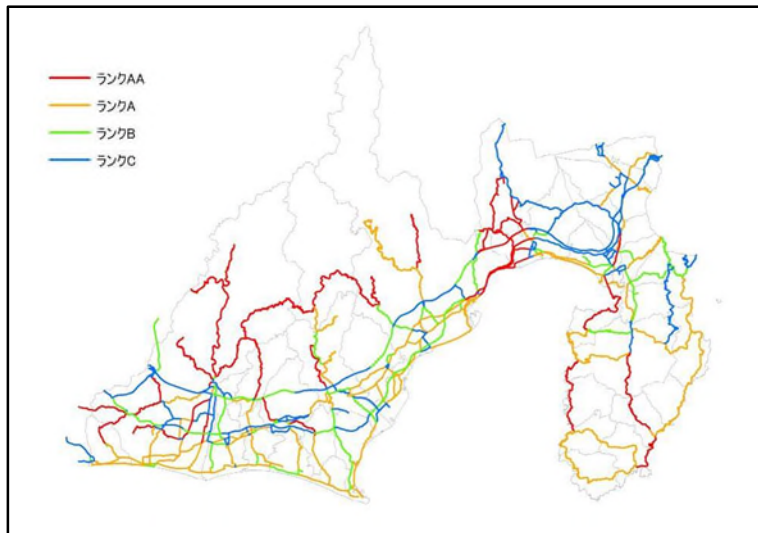
交通施設等の被害

1 道路施設（緊急輸送路）

レベル1



レベル2
(基本ケース)



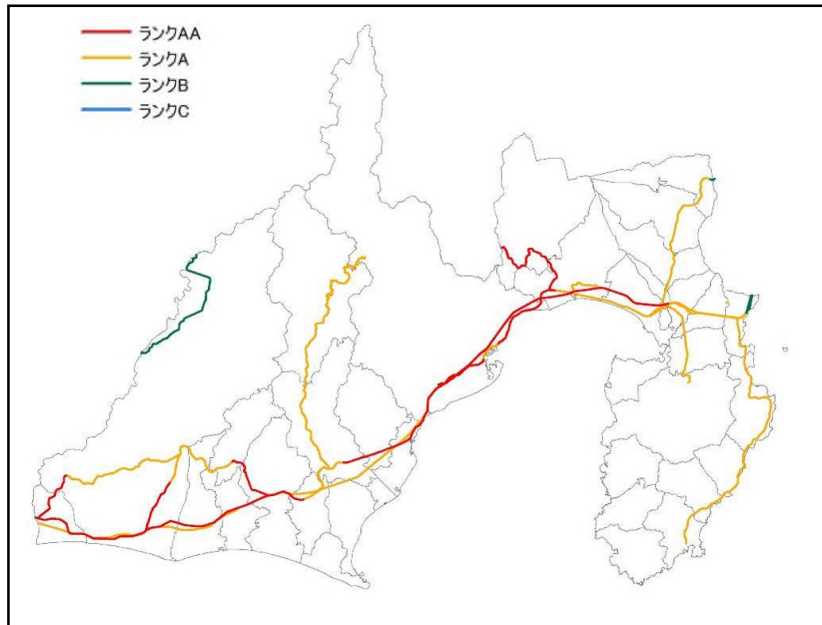
影響度ランク

影響度 ランク	被害 規模	緊急輸送が可能なレベルの 復旧に要する日数目安	被害のイメージ
AA	大	1週間以上	橋梁の落橋、倒壊／地形の大変形 等
A	中	3日～1週間	道路閉塞（建物、道路上工作物、津波堆積物） ／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／盛土、切土被害 等
B	小	当日～3日	液状化被害／その他小規模な被害 等
C	なし	—	—

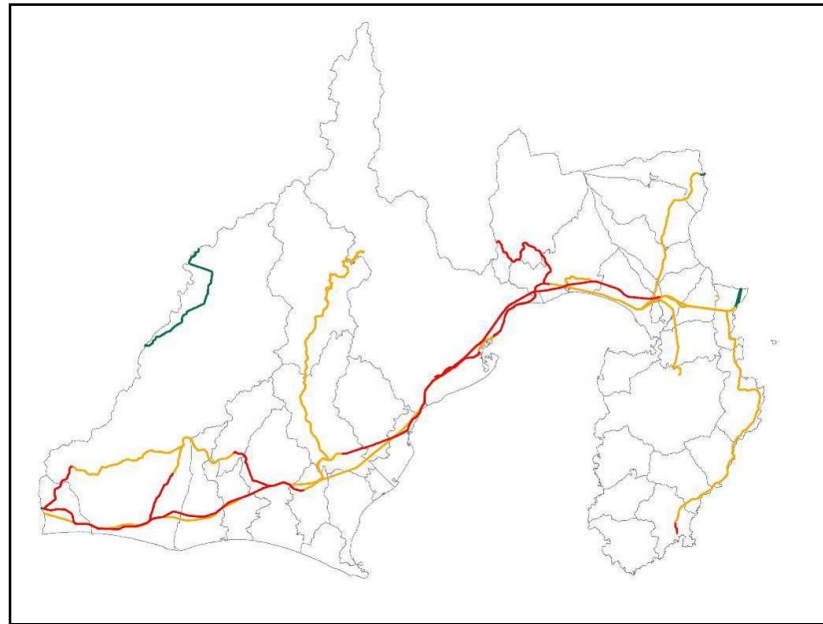
2 鉄道施設

<駿河トラフ・南海トラフ沿いで発生する地震・津波>

レベル1



レベル2
(基本ケース)



影響度ランク

影響度 ランク	被害 規模	運行再開までの 日数目安	被害のイメージ
AA	大	1ヶ月以上	橋梁の落橋、倒壊、大変形／津波による流失 等
A	中	1週間～1ヶ月	線路上への異物侵入(建物、鉄道上工作物、津波堆積物等) ／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／盛土、切土被害／軌道変状 等
B	小	当日～1週間	液状化被害／その他小規模な被害 等
C	なし	—	—

3 港湾施設

＜地震後に使用可能な防災拠点港湾・防災港湾の取扱能力＞

区分	港湾・漁港数	耐震強化岸壁数	取扱能力 (t/日)
レベル1	17	29	77, 355
レベル2	17	28	70, 269

4 飛行場・ヘリポート

(1) 静岡空港

ア 被災状況

- ・震度6強の大きな揺れが発生するが、滑走路等の基本施設や航空保安施設に及ぼす影響は小さく、長期にわたり離着陸に影響を及ぼすような大きな被害は発生しない。

イ 対応状況

- ・安全確認のため空港を閉鎖するが、空港運用に支障がないと判断した時点から運航を再開し、速やかに救急・救命活動、消火活動の拠点として運用を開始するとともに、広域医療搬送拠点が設置される。

(2) その他の主な飛行場・ヘリポート

- ・県内の航空自衛隊の基地では震度6弱～7の揺れを受け、一時的に空港機能を停止する可能性がある。また、アクセス道路に被害が生じること等により、輸送機能に支障が生じる可能性がある。
- ・一部の防災拠点ヘリポートや市町防災ヘリポートでは震度6強以上の強い揺れを受ける可能性や津波が浸水するおそれがあるほか、離着陸場内に住民等が避難していたり、アクセス道路に被害が生じたりすること等により、輸送機能に支障が生じる可能性がある。

生活支障等

1 避難者

<避難者数（発災～1ヶ月後）>

単位：人

区 分	1日後			1週間後			1ヶ月後		
	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外
レベル1	834,248	502,423	331,825	1,222,164	614,168	607,996	837,162	251,149	586,013
レベル2 (基本ケース)	1,047,298	645,674	401,624	1,272,133	680,325	591,808	1,011,922	303,576	708,345
(第3次想定)	2,041,208	1,186,144	855,064	1,296,152	761,262	534,890	946,800	557,601	389,199

2 物資不足

<給水、食料、毛布の不足量（市町の備蓄のみで対応した場合）>

区 分		住 民 分		観光・出張客分を考慮した場合 1～3日目の計
		1～3日目の計	4～7日目の計	
レベル1	給水(トン)	3,053	164,173	3,583
	食料(食)	2,397,153	6,096,423	3,240,877
	毛布(枚)	565,822		809,228
レベル2 (基本ケース)	給水(トン)	3,156	164,426	3,686
	食料(食)	2,888,821	7,471,212	3,774,104
	毛布(枚)	627,904		878,687

※ 家庭内備蓄を考慮して算出している。

3 医療機能支障

区 分	医療対応力不足数	
	入院対応	外来対応
レベル1	約30,000	約21,000
レベル2 (基本ケース)	約37,000	約25,000
区 分	入 院	外 来
(第3次想定)	18,658	28,678

4 住機能（応急仮設住宅等）

＜中期的住機能支障（発災後約1ヶ月～2年間）＞

単位：世帯

区 分	応急仮設住宅等の需要 ※		
	応急仮設住宅	借上げ型応急住宅	公営住宅の一時使用
レベル1	37,974 (59,309)	60,042 (60,044)	6,420 (6,420)
レベル2 (基本ケース)	43,690 (67,725)	60,044 (60,044)	6,420 (6,420)
(第3次想定)	44,400 (46,831)	—	3,107 (3,244)

※ アンケート結果に基づく推計（借上げ型応急住宅、公営住宅および民間賃貸住宅の入居上限を考慮）

※ 上段：自宅が全壊・焼失した世帯の需要、下段：自宅が全壊・焼失、半壊した世帯の需要

＜長期的住機能支障（発災後約2年～数年以降）＞

単位：世帯

区 分	災害公営住宅の需要 ※			
	計	全壊世帯の需要	半壊世帯の需要	
			うち年収400万円未満	
レベル1	85,455	61,783	38,145	23,673
レベル2 (基本ケース)	92,227	66,217	41,398	26,010
(第3次想定)	95,899	49,670	29,864	46,229

※ アンケート結果に基づく推計

5 し尿・ごみ・瓦礫

＜仮設トイレ不足量＞

単位：基(仮設トイレ基数換算)

区 分	市町の仮設トイレ等の備蓄のみで対応した場合	
	仮設・簡易トイレを活用	仮設・簡易・マンホールトイレを活用
レベル1	3,128	2,715
レベル2 (基本ケース)	4,431	4,259
(第3次想定)	2,015	—

<災害廃棄物、津波堆積物>

単位：千トン

区分	合計	災害廃棄物	津波堆積物
レベル1	30,786~31,675	29,995	791~1,680
レベル2 (基本ケース)	36,883~41,767	32,536	4,347~9,231
(第3次想定)	26,239	25,803	436

<一般廃棄物（生活ごみ）>

単位：トン/月

区分		発災～3ヶ月後	3ヶ月後～半年後	半年後～1年後
第4次想定	家庭ごみ	95,000	94,000	94,000
	粗大ごみ	20,000	9,500	7,200
(第3次想定)	家庭ごみ	93,361	92,393	92,393
	粗大ごみ	63,511	29,479	22,438

経済被害

単位：兆円

区分		直接的被害	間接的被害	
予知なし	レベル1	20.30	3.90	
	レベル2	基本ケース	22.63	5.34
		陸側ケース	21.35	6.81
		東側ケース	23.76	5.46
	(第3次想定)	20.79	5.28	
予知あり	レベル1	17.39	2.93	
	レベル2	基本ケース	19.85	3.20
		陸側ケース	20.01	4.31
		東側ケース	20.90	4.30
	(第3次想定)	18.68	4.60	

ライフラインの被害

1 上水道

<断水率、断水人口>

区分	給水人口 (千人)	断水率 (%)				断水人口(千人)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
レベル1	約3,716	21	9	6	0	約793	約337	約207	0
レベル2		25	13	8	0	約923	約477	約295	0
区分	需要家数 (千件)	断水率 (%)				断水需要家数(千件)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
(第3次想定)	348	52	36	5	0	179	124	17	0

※ 第3次想定は、富士市以东についての想定結果

<復旧予測>

レベル1	95%復旧 1週間程度
レベル2	95%復旧 2週間程度

2 下水道

<機能支障率、機能支障人口>

区分	処理人口 (千人)	機能支障率 (%)				機能支障人口(千人)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
レベル1	約2,236	2	2	1	0	約53	約43	約26	約33
レベル2		12	12	10	1	約271	約262	約215	約32
区分	需要家数(千件)	機能支障率(%)				機能支障需要家数(千件)			
(第3次想定)	136	0.7				0.9			

※ 第3次想定は、富士市以东についての想定結果

<復旧予測>

レベル1	95%復旧 数日程度
レベル2	95%復旧 3週間程度

3 電力

<停電率、停電軒数>

区分	需要家数 (千軒)	停電率(%)				停電軒数(千軒)			
		直後	1日後	4日後	1週間後	直後	1日後	4日後	1週間後
レベル1	約2,247	33	5	0	0	約735	約117	約4.9	約4.9
レベル2		33	5	0	0	約736	約122	約9.3	約9.3
区分	需要家数(千件)	機能支障率(%)				停電需要家数(千件)			
(第3次想定)	540	5.0				27			

※ 第3次想定は、富士市以東についての想定結果

<復旧予測>

レベル1	95%復旧 数日程度
レベル2	95%復旧 数日程度

4 通信

<固定電話(不通回線率、不通回線数)>

区分	回線数 (千回線)	不通回線率(%)				不通回線数(千回線)			
		直後	1日後	1週間後	1ヶ月後	直後	1日後	1週間後	1ヶ月後
レベル1	約833	34	6	0	0	約279	約48	約3.5	約3.1
レベル2		34	6	1	1	約280	約53	約7.5	約6.6

<復旧予測>

レベル1	95%復旧 数日程度
レベル2	95%復旧 数日程度

<携帯電話(停波基地局率、不通ランク)>

区分	停波基地局率(%)				不通ランク			
	直後	1日後	4日後	1週間後	直後	1日後	4日後	1週間後
レベル1	0	6	0	0	—	—	—	—
レベル2	1	6	1	1	—	—	—	—

※ 不通ランク 「A」: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が50%を超える。
「B」: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が40%を超える。
「C」: 停電による停波基地局率と固定電話不通回線率の少なくとも一方が30%を超える。
「—」: 上記ランクA、B、Cのいずれにも該当しない。

<復旧予測>

レベル1	95%復旧 数日程度
レベル2	95%復旧 数日程度

5 ガス

＜都市ガス(供給停止率、供給停止戸数)＞

区分	需要家数 (千戸)	供給停止 戸数(千戸)	供給停止率 (%)	復旧対象戸数 (千戸)
レベル1	約494	約19	4	約12
レベル2	約494	約61	12	約28

＜復旧予測＞

区分	都市ガス
レベル1	95%復旧 数日程度
レベル2	95%復旧 1週間程度

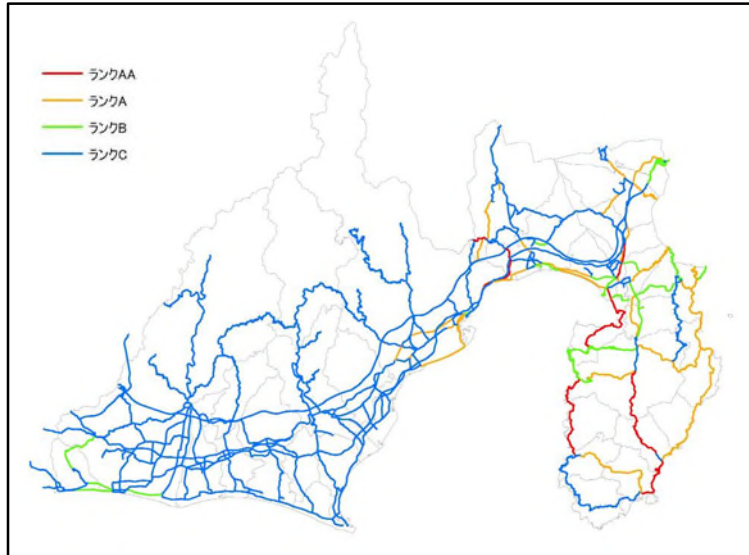
＜LPガス(供給停止率、供給停止戸数)＞

区分	需要家数 (千戸)	機能支障率 (%)	要点検需要家数 (千戸)
レベル1	約855	4	約32
レベル2		6	約52

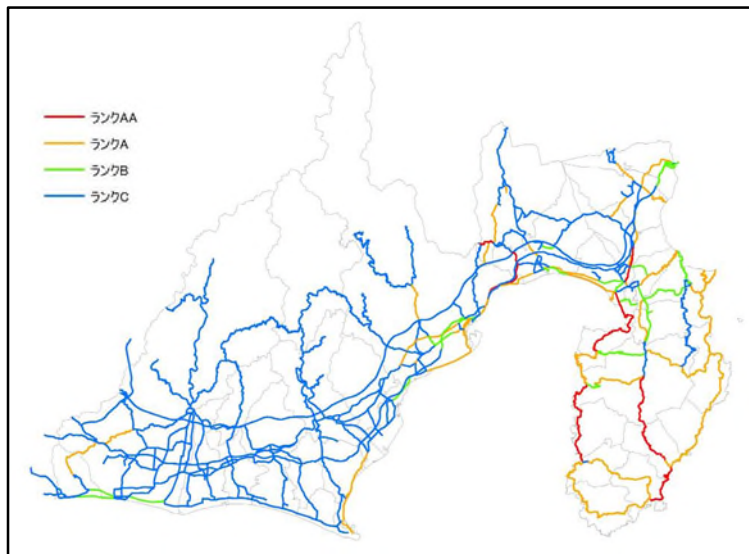
交通施設等の被害

1 道路施設（緊急輸送路）

レベル1



レベル2

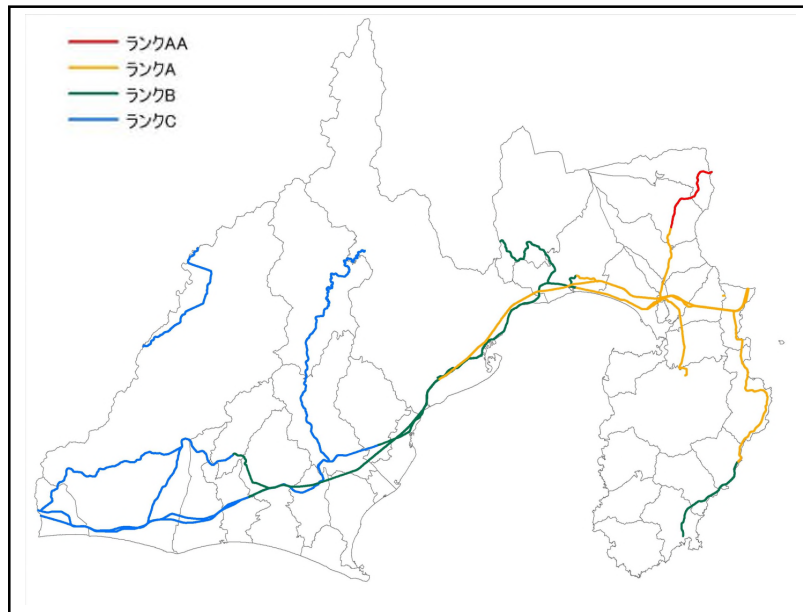


影響度ランク

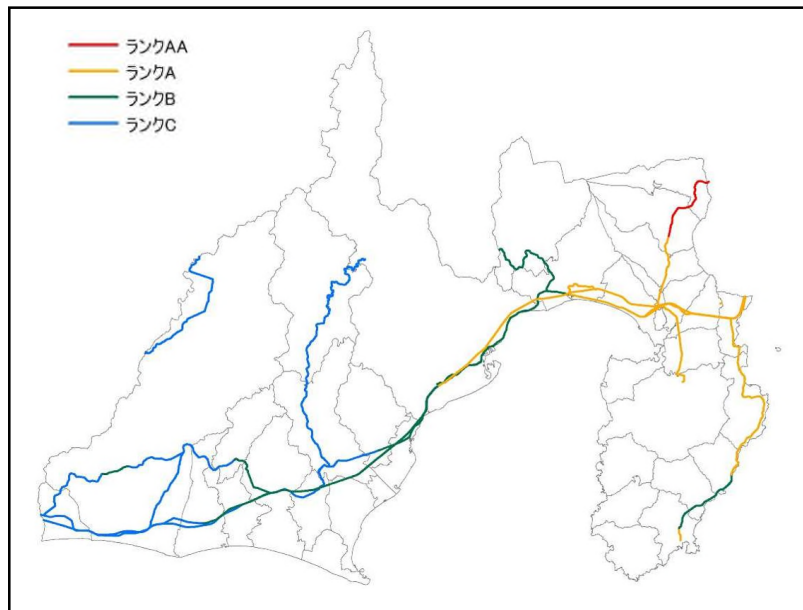
影響度 ランク	被害 規模	緊急輸送が可能なレベルの 復旧に要する日数目安	被害のイメージ
AA	大	1週間以上	橋梁の落橋、倒壊／地形の大変形 等
A	中	3日～1週間	道路閉塞（建物、道路上工作物、津波堆積物） ／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／盛土、切土被害 等
B	小	当日～3日	液状化被害／その他小規模な被害 等
C	なし	—	—

2 鉄道施設

レベル1



レベル2



影響度ランク

影響度 ランク	被害 規模	運行再開までの 日数の目安	被害のイメージ
AA	大	1ヶ月以上	橋梁の落橋、倒壊、大変形／津波による流失 等
A	中	1週間～1ヶ月	線路上への異物侵入(建物、鉄道上工作物、津波堆積物等) ／橋梁の亀裂、損傷／地すべり／盛土、切土被害／軌道変状 等
B	小	当日～1週間	液状化被害／その他小規模な被害 等
C	なし	—	—

3 港湾施設

<地震後に使用可能な防災拠点港湾・防災港湾の取扱能力>

港湾・漁港数	耐震強化岸壁数	取扱能力(t/日)
18	30	80, 553

4 飛行場・ヘリポート

(1) 静岡空港

ア 被災状況

- ・震度は4程度であり、滑走路等の基本施設や航空保安施設に被害は発生しないが、安全確保のため空港を閉鎖する。

イ 対応状況

- ・安全確認後、空港運用に支障がないと判断した時点から運航を再開する。
- ・当日中に空路による緊急輸送が開始される。

(2) その他の主な飛行場・ヘリポート

- ・県内の航空自衛隊の基地では震度4～5弱の揺れを受け点検が必要となる可能性がある。
- ・ごく一部の防災拠点ヘリポートや市町防災ヘリポートで震度6強以上の強い揺れを受ける可能性や津波が浸水するおそれがあるほか、離着陸場内に住民等が避難していたり、アクセス道路に被害が生じたりすること等により、輸送機能に支障が生じる可能性がある。

生活支障等

1 避難者

<避難者数（発災～1ヵ月後）>

単位：人

区分	1日後			1週間後			1ヵ月後		
	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外	避難者数	避難所	避難所外
レベル1	56,964	34,848	22,116	96,147	48,387	47,760	47,457	14,237	33,220
レベル2	111,648	69,015	42,633	150,590	76,234	74,356	82,913	24,874	58,039

2 物資不足

<給水、食料、毛布の不足量（市町の備蓄のみで対応した場合）>

区分	住 民 分		観光・出張客分を考慮した場合 1～3日目の計	
	1～3日目の計	4～7日目の計		
レベル1	給水(トン)	262	12,611	391
	食料(食)	63,327	341,168	540,359
	毛布(枚)	24,663		99,261
レベル2	給水(トン)	363	19,324	492
	食料(食)	182,754	632,647	686,164
	毛布(枚)	36,292		126,595

※ 家庭内備蓄を考慮して算出している。

3 医療機能支障

<医療機能支障>

区分	医療対応力不足数	
	入院対応	外来対応
レベル1	—	—
レベル2	—	—

※ 市町単位では医療対応力不足数が算出されているが、県内の他市町に搬送して対応できるため、県計としては不足数が算出されていない。

4 住機能（応急仮設住宅等）

<中期的住機能支障（発災約1ヶ月～2年間）>

単位:世帯

区 分	応急仮設住宅等の需要 ※		
	応急仮設住宅	借上げ型応急住宅	公営住宅の一時使用
レベル1	1,801 (2,938)	2,483 (4,413)	1,058 (1,812)
レベル2	3,328 (5,033)	4,588 (7,484)	1,956 (3,086)

※ アンケート結果に基づく推計(借り上げ型応急住宅、公営住宅及び民間賃貸住宅の入居上限を考慮)

※ 上段：自宅が全壊・焼失した世帯の需要、下段：自宅が全壊・焼失、半壊した世帯の需要

<長期的住機能支障（発災後約2年～数年以降）>

単位：世帯

区 分	災害公営住宅の需要 ※			
	計	全壊世帯の需要	半壊世帯の需要	
			うち年収400万円未満	
レベル1	6,550	3,217	2,130	3,333
レベル2	10,940	5,946	4,046	4,994

※ アンケート結果に基づく推計

5 し尿・ごみ・瓦礫

<仮設トイレ不足量>

単位:基(仮設トイレ基数換算)

区 分	市町の仮設トイレ等の備蓄のみで対応した場合	
	仮設・簡易トイレを活用	仮設・簡易・マンホールトイレを活用
レベル1	17	0
レベル2	76	52

<災害廃棄物、津波堆積物>

単位：千トン

区 分	合 計	災害廃棄物	津波堆積物
レベル1	1,672～1,900	1,469	203～ 431
レベル2	3,316～3,968	2,736	580～1,232

経済被害

単位:兆円

区 分	直接的被害	間接的被害
レベル1	1.65	0.145
レベル2	2.70	0.257